

1 目指す社会像

デジタルの恩恵により、暮らしや働き方が一変する社会

2 第2期の重点テーマ

デジタルによる人口減少社会への挑戦！

3 取組内容

生活：都市部と遜色ない生活が可能

ポイント1 持続可能な地域と暮らしを支えるデジタル化を推進

1 あらゆる世代の健康や学びの質を向上

- ・医療DXの推進
- ・介護事業所のデジタル化
- ・健康・子育て応援アプリの活用
- ・出会いの機会の創出
- ・個別最適・協働的な学びや遠隔教育の推進

2 住み続けられる中山間地域の実現

- ・生活用品や生活水の確保
- ・公共交通の利便性向上
- ・被災者支援体制の整備や防災アプリの活用

産業：一人ひとりの稼ぐ力が向上

ポイント2 デジタルを活用した働き方改革や担い手確保を推進

1 データ駆動型一次産業への転換

- ・IoTプロジェクトの推進
- ・スマート林業の推進
- ・高知マリンイノベーションの推進

2 地場産業のさらなるデジタル化

- ・中小企業等のデジタル化促進
- ・デジタル化を進める企業内人材の育成・確保
- ・デジタルマーケティングを活用した担い手確保

3 デジタルイノベーションによる新産業の創出

- ・ヘルスケアイノベーションプロジェクトの推進
- ・ローカルイノベーションプラットフォームによる新事業の創出

行政：スマートフォンひとつで行政手続が完結

ポイント3 質の高い行政サービスを提供し続けられるスマート自治体への転換を推進

1 県民との接点のさらなるデジタル化

- ・行政手続のオンライン化の推進
- ・住民との接点（フロントヤード）の改革

2 職員の働き方を改革

- ・場所や紙にとらわれない働き方の推進
- ・業務プロセスの抜本的な見直しと再構築

3 市町村のデジタル化を推進

- ・基幹システムの標準化への対応
- ・市町村の行政手続のオンライン化
- ・システムの共同調達・共同利用の検討

デジタル化を支える人材の育成・確保！（デジタル×○○）

デジタル実装の基礎条件整備：誰一人取り残さない取組の推進

I ブロードバンド未整備地域の解消

- ・衛星通信の活用

II デジタルデバイドの解消

- ・スマートフォン活用サポーターの養成

III マイナンバーカードの利活用

- ・活用シーンの創出

各分野における令和8年度の主な取組内容

生活

① 公共交通へのキャッシュレスサービス導入

公共交通機関の利用者の利便性向上を図るため、全国交通系ICカード「ICOCA」の導入を支援

② デジタル地域通貨の普及促進

キャッシュレス決済の普及促進を図るため、デジタル地域通貨を発行する法人等が行う利用促進の取り組みを支援

③ 公金収納のデジタル化

県民サービスの向上を図るため、手数料等の公金納付のキャッシュレス化を推進

④ 電子出願システムの構築

県立中学・高等学校の入試への出願手続きや受検料の納付を電子化し、県民と教職員双方の利便性を向上

⑤ 鳥獣被害対策クラウドの導入

県、市町村及び関係団体が連携し、データに基づく迅速かつ効果的な対策を実施するため、鳥獣被害対策クラウドを導入

⑥ 県・市町村共通の被災者支援業務システムの導入

罹災証明書発行などの市町村事務の支援が行えるよう、県と市町村で共通のシステムを導入

産業

① 漁業における産地市場スマート化の推進

土佐清水地域で構築しているモデル市場の県内への横展開等により、産地市場のスマート化を拡大

② 建設業のデジタル化モデル事業

3D測量等の内製化支援や遠隔施工等を活用したモデル工事により、デジタル技術の活用拡大と魅力ある現場環境を創出

③ 観光DMP（データマネジメントプラットフォーム）の構築

分散する観光統計を集約し、効率的に本県観光の特徴を把握できる仕組みの構築により広域観光組織の施策展開を支援

行政

① 県庁におけるデジタルツールの利活用

生成AIやノーコードツールの操作研修や専門家の伴走支援によりデジタルツールの利用を拡大し、業務効率化を推進

② 市町村のデジタル化に対する支援体制の強化

デジタル人材を任期付職員として確保し、市町村を巡回しながらデジタル化・DXの取組を伴走支援

③ 教職員のテレワーク環境等の整備（県立学校）

自宅等からも業務環境にアクセスできる仕組みを構築し、子育てや介護、夏季休業期間中などにテレワークが可能な環境を整備

生活

(教育) (医療)

- ・全員が一斉に同じ内容を学習。
- ・中山間地域では通院の負担が大きい。



- ・蓄積された学習データを活用し、一人一人の理解の状況に応じた効果的な学習が可能!
- ・資料の共同編集などグループワークにも効果的!



- ・地域の集会所など身近な場所でオンライン診療を受診可能。
- ・服薬指導もオンラインで。



都市部と遜色ない生活が可能に!

産業

(農業) (水産業)

- ・ハウスまで見に行かないと状況が確認できない。
- ・経験と勘だけでは、安定的な農業経営はできない。
- ・魚群が見つかるまで船を走らせ、非効率。
- ・産地市場の業務は、紙、FAX、電話が中心。

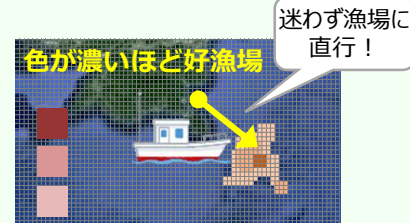


- ・IoPクラウドを構築し、データに基づいた農業を実践!
- ・操業情報や海況情報等と、AIを活用し、好漁場を予測

IoPクラウド (AI×データベース)

SAWACHI

- ハウス内環境データ
- 作物生育データ
- 気象データ
- 画像データ
- 出荷データ
- エネルギーデータ
- 労務データ



- ・ハウスの状況確認が遠隔で
- ・上手な農家の技術を共有
- ・自動計量や電子入札システムを導入し、業務を効率化。



生産性が飛躍的に向上し一人ひとりの稼ぐ力が高まる!

行政

- ・手書きの申請書で申請する。
- ・来庁して内容を確認する。(平日の8:30~17:15のみ)
- ・職員は紙文書で事務処理。



- ・オンラインで申請が可能!
- ・来庁する必要無し!(いつでも申請が可能)



- ・RPAの活用により作業時間減
- ・テレワーク環境でも電子決裁により意思決定が可能!



スマートフォンひとつで行政手続きが完結!